

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274201025		
法人名	メディカル・ケア・サービス会社		
事業所名	愛の家グループホーム 三保松原(1階)		
所在地	静岡県静岡市清水区三保2432-2		
自己評価作成日	平成31年3月18日	評価結果市町村受理日	平成31年3月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2274201025-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成31年3月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様が安全で安心な生活ができるよう、支援しています。
『明るい挨拶ができる』を目標にして毎日過ごしています。
ふまねつを毎月2回実施をして、運動機能の低下防止努めています。
ご家族様に「愛の家で良かった」と思っていただけのようなホームできるよう目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「居室掃除が…」との家族の苦言は、「出勤前又は退勤前5分居室担当が掃除する」として、速やかに解決するフットワークの良さとともに、利用者とのふれあいと生活リハビリを大切にしている事業所です。自力歩行できる利用者が食事介助を受けている仲間に「頑張ってる食べようね」と言わんばかりに満面の笑みを浮かべて覗き込んだり、パタカラ体操のあんちょこを読み上げることで有用感を味わうことができたり、職員がズボンの裾にゴムを通そうとすることを見て不具合を察知して利用者が代わって縫うといったことも間々あり、食器拭きが得意であればその役割をお願いすることで、職員が「ありがとう」と言う機会をつくっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 運営推進会議の内容を要約でも良いの 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全スタッフが運営に基づいた credo を所持しています。出勤時に唱和することで意識するようにしています。	法人の credo カードを職員一人ひとりが所有して、出勤時にも唱和しています。半期毎に事業所目標をマネジメントサイクルに乗せ、ユニット毎に振り返った後全体会議で話し合い、皆の目標として浸透しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域への防災訓練の参加や、地域の行事への参加、近隣の小学校や幼稚園との交流を図り、地域の一員として暮らせるように努めています。	小学校の学習発表会参観は恒例となり、また地域の保育園3園には利用者手作りのクリスマスツリーに飾るオーナメントを届けつつ、おやつと一緒に食べたり、遊戯を披露してもらえ、楽しい時間を過ごせています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所から地域に向けての発信はまだ不十分だと感じます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、自治会長、民生委員、包括職員、入居者家族、行政職員に参加していただき、ホームの近況報告を行っております。	家族、地域、行政が顔を揃え隔月開催できています。「広報があれば地域行事に行けるんですが…」とお願いしたところ、自治会長が速やかに手配下さる等、運営推進会議を通じて、メンバーに助けてもらえています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的ではないが、行政職員が運営推進会議に出席していただいています。運営推進会議議事録は毎回、提出しております。	シニアサポーターの登録事業所なもの、未だ実績はありません。介護相談員は1ヶ月に1度、訪問くださり、またS型デイサービスとは前任の管理者がふまねっとで関わっていたので、今後はタクティールのも含め提案してゆく予定です。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修、チェックシートへのチェックを行い、身体拘束をしない状況づくりをしています。	法改正に伴い『身体拘束廃止委員会』を設置し、委員会開催4回、研修会2回、新入社員研修を完遂しています。その他にも法人主導の『虐待・不適切ケアシート』『身体拘束チェックシート』が長年継続して本件の体制は整っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修、チェックシートへのチェックを行い、身体拘束をしない状況づくりをしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム内研修で学ぶ機会はあるが、活用してサービス向上に繋げるまでは至りません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明、家族に不安や疑問点がないようしっかりと説明させて頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での意見交換や、年1回のご家族様アンケートを毎年実施しています。ご意見やご要望を収集し、サービス向上に努めています。	毎月家族に郵送している事業所通信『まっぼっくり』は家族に好評で、アンケートにも「楽しみにしている」と上がっています。「居室掃除が…」との苦言は、「出勤前又は退勤前5分居室担当者が掃除する」として、速やかに解決しています。	運営推進会議の内容を要約でも良いので家族に届けることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回の会議、スタッフアンケートなどから職員の意見や提案を反映に繋げるように努めています	社内転勤で昨年11月着任した新管理者を10年以上の勤務者が2名もいる職員集団が地域のことを教えたり、道案内したりと協力しており、また松の葉が大量に落ちる庭掃除も主体的に動いていて、自立した職員が多くなります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会議中だけでなく、普段の会話や様子などからくみ取れるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ一人一人の能力を把握する事に努め、必要に応じて面談や意見交換及び、その場での指導を行い、成長できるよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所の運営す身会議に参加させて頂いています。第三者評価様主催の研修に参加して質の向上に繋がられるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、アセスメントを行い、本人のニーズ、本人の生活歴などを把握して安心して入居して頂けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時から、ご家族様が困っている事に耳を傾け、要望、ニーズを引き出せるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホーム長、ケアマネージャー、本人、ご家族と話し合い、必要な支援を考えてから入居して頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームは暮らしの場所と考えで自宅にいた時と、出来る限り同じように生活して頂いています。スタッフはさりげなく支えるという考えで入居者様に接するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙や電話、面会時などに声をかけさせて頂き、情報の共有をし、より良い関係作りに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様との外出など、馴染みの関係が途絶えないように配慮しています。	「朝日新聞が読みたい」という人は定期購読を継続し、趣味の編み物を続けている人はほかの利用者の誕生日プレゼント(座布団、帽子)を作ってくださいたり、「珈琲が好き」な人はモーニング珈琲を楽しんでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や性格などを考慮しながら、入居者様に手伝いをお願いするなどして入居者様同士の関係をもって頂くようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人に面会に行かせて頂いたり、電話などで連絡をとらせて頂いたりと必要に応じてサービス利用後もできる限りの支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「お1人お1人の、想いの実現の為に」をホームビジョンとして掲げ、全スタッフがその都度、意識して考えるように努めています。	携帯から家族へ電話して「ラーメン屋に行きたい」と言える人もいれば、意向が把握しにくい人もいます。散歩や入浴でのマンツーマンの場面や、夜勤者の隣りに座って想いを話して下さることがあり、介護記録に残し共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントの実施 入居後も本人、ご家族様からの情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、日報等を活用し、日々の変化に早く気づけるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が中心となり、サービス担当者会議や日々の意見交換からご本人にとって必要なケアプランになるように努めています。	1表には『計画作成担当者による説明』『同意』『交付』と3つの日付を入れ、2表には『地域資源サービス等』の項目があり、丁寧に作成するようフォーマット化されていて、また中身も個別性が際立った内容であることを視認しました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、日報、申し送りノートを利用し、情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じようなサービス内容にならないようにグループホームだから出来ること、個別の支援の重要性を考え、できる限り、柔軟に対応するように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物、散歩、外食、清掃活動など地域に積極的に外出するよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様と連携を密にとり、ご本人に必要な医療がいきとどくように支援しています。	月2回訪問診療くださる協力医に18名全員が変更しています。週2日勤務の看護師と日勤者が立ち会い『往診報告書』に結果を記載しています。専門医受診は家族に通院介助をお願いして、口頭報告から『受診報告書』に記録しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が正確な情報を得られるように、看護師の出勤時、電話での相談、受診介助報告書等で情報の共有をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後も頻りに面会をさせて頂き、病院の医者、看護師、相談員、ご家族様と情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、ご家族様に重度化された場合の指針を説明させて頂いています。ご本人様の状態変化に応じて主治医、ご家族様とその都度、相談を重ねて決定しています。	契約時に家族には「看取りをおこなう事業所であること」を説明していますがここ1年実績はなく、また延命措置についての同意書は未だ交わしてはけません。職員体制が整わない場合は移設をお願いすることもあり得るため、移設先となる施設との協力関係を築くことを課題としています。	看取りへの心構えの確認や、年に1回程度の勉強会があると、なお良いと思います。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ個々で力量に差があり、同じように対応できる状態ではありません。同じように対応できるように全体研修を続けていく必要があります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災の時は屋外、地震の時はホーム2階への避難訓練を実施。地域の防災訓練への参加もしているが、近くに住宅が少ない為、今後は地域の方との協力関係がもてるようにする必要があります。	年2回法定訓練をおこなっていますが、本年の消防署立ち合いはありません。建物のオーナーが救命胴衣を全利用者分購入くださっています。保存食は備蓄リストもあり、食事が手作りなのでローリングストックも含めると6日分ほどになります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様、一人一人の性格や生活歴を把握し、その方を尊重した支援をさせて頂いております。	職員がズボンの裾にゴムを通そうとしていたところ、不具合を察知して利用者が代わって縫ってくださるといったことも間々あり、食器拭きが得意であればその役割をお願いすることで、職員が「ありがとう」と言う機会をつくっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中でさりげなく本人の思いや希望が表せるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	嫌な気持ちで行っても楽しくないし、嫌な想いをするだけなので、レク活動には強制して参加して頂く事がないように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の趣味を考慮し、その日に着たい服を選んで頂くことをしています。 ご自分でできる方で化粧をされている方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の認知状態、身体状態を考慮しながら食事作りから片づけの部分で出来ることをスタッフと一緒にしています。	食材は近隣のスーパーマーケットに買い出しに出かけ、ご飯・汁物・主菜・副菜2品を職員が手作りしています。正月のお節料理、節分は恵方巻、お雛祭りにはちらし寿司といった行事食もあります。もやしのひげ取りや食器拭きを手伝う利用者もいます。	調理レクリエーションへの挑戦があると、なお良いと思います。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	出来る限りの範囲で、ご本人様が好むものを提供して、十分に栄養バランスが確保できるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、入居者様の状態に合わせてできる限り、ご自分で行えるように支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表を活用して一人一人の排泄パターンを把握するように努めています。	ユニット会議ではパットの大きさや使用量について検討していて、また排泄チェック表をつけてリズムを掴み、定時誘導もおこなうため、「パッドは小さいものでいいのじゃないか」と随時向上への変更を試みています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、食事量、活動量から考慮し、看護師とも相談しながら支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回を目安としているが、希望があれば入浴できるように支援しています。 お風呂の湯は人毎に入れ替えている。	週2日を目安としていて、回数は現在増やすのは難しいものの「夜入りたい」人の要望には応えています。お湯への遊びが大きいのかお風呂では脚が普段より上がる人もいます。湯は一人ひとり入れ替えており、冬至の日はゆず湯にしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズム、その方の体力を把握し、対応するよう心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の追加、変更などを書面にて共有しています。 薬の追加、変更時には特に注意して状態の変化を確認するように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人一人が好むことを把握し、楽しみを支援しています。 花の水やり、絵描き等を行っている入居者様があります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や外出の個別支援を心がけています。 ご家族様の協力にて外出などを楽しまれていく方もいらっしゃいます。	散歩コースは沢山あり、外気浴は盛んです。三保神社への初詣、いちご狩り、桜の花見は年間の外出行事として位置付けられ、花見では毎回記念撮影しています。先月は半年ぶりに全員外出が叶い、1階はお刺身定食、2階はペイドリムでアイスやドーナツを堪能しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いの管理はしていません。 買い物は立替えています。 買い物の楽しみをもてるよう、買い物支援や外出支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望により、ホームの電話を使用される方もおられます。 個人で携帯電話を持たれている方もいっしやいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	浴室やトイレでは臭いやプライバシーに配慮し、空間内に不快な臭いや温度がこもらないように換気を行っております。	廊下の突き当りにある東屋にも似た半円の出窓とベンチは利用者の憩いの場所として居場所づくりにもなり、50年ほど前の企業のPR看板は回想から和みにつながり、窓枠から松林を日本画のように眺めることができます。	2階は5Sが行き届いていますが、1階は不十分なため、是正を期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間においてはご利用者様同士の交流を重点に置きつつ、一人での時間を過ごされる方が見られたらご本人様の意思を尊重するよう努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の居室につきましては、ご本人様にとって長年使い慣れた物を配置したり、使用する事で居心地の良い暮らしを送れるよう努めております。	「ベッドからテレビを観たい」として配置を自身で動かす人はベッド周りに日常使用用具をまとめて置いています。お嫁入り道具と一目でわかる和ダンスを持ち込んだ人、洋服を壁に沢山連ねている人、その人それぞれの居室を視認しました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様の出来る事を把握し、理解して、自立を促しつつ、ご本人様が苦手としている事を介助していく事で、安全な環境作りに努めております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274201025		
法人名	メディカル・ケア・サービス会社		
事業所名	愛の家グループホーム 三保松原(2階)		
所在地	静岡県静岡市清水区三保2432-2		
自己評価作成日	平成31年3月18日	評価結果市町村受理日	平成31年3月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2274201025-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成31年3月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様が安全で安心な生活ができるよう、支援しています。
『明るい挨拶ができる』を目標にして毎日過ごしています。
ふまねつを毎月2回実施をして、運動機能の低下防止努めています。
ご家族様に「愛の家で良かった」と思っていただけのようなホームできるよう目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「居室掃除が…」との家族の苦言は、「出勤前又は退勤前5分居室担当が掃除する」として、速やかに解決するフットワークの良さとともに、利用者とのふれあいと生活リハビリを大切にしている事業所です。自力歩行できる利用者が食事介助を受けている仲間に「頑張ってる食べようね」と言わんばかりに満面の笑みを浮かべて覗き込んだり、パタカラ体操のあんちょこを読み上げることで有用感を味わうことができたり、職員がズボンの裾にゴムを通そうとすることを見て不具合を察知して利用者が代わって縫うといったことも間々あり、食器拭きが得意であればその役割をお願いすることで、職員が「ありがとう」と言う機会をつくっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 運営推進会議の内容を要約でも良いの 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	内容は変更する事もあります。理念を唱和していませんが、解りやすい内容にして日々実行しております。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の防災訓練に参加したり、神社やお祭り、近隣の保育園、小学校行事に参加させて頂く事で地域との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症についてサポーター養成講座、介護相談会など、地域に向けて企画しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期開催を実施しています。活動状況を報告させて頂き、意見を聞き、改善、向上に努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の受入れはしています。行政の担当者との関係は築けていません。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルは設置しています。定期的に研修もしています。スタッフに意識向上に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修を行っています。会社のマニュアルと合わせて虐待に関する事件も利用して、防止に徹底しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ホーム内研修で学ぶ機会はあるが、活用してサービス向上に繋げるまでは至りません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明、家族に不安や疑問点がないようしっかりと説明させて頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での意見交換や、年1回のご家族様アンケートを毎年実施しています。ご意見やご要望を収集し、サービス向上に努めています。		運営推進会議の内容を要約でも良いので家族に届けることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回の会議、スタッフアンケートなどから職員の意見や提案を反映に繋げるように努めています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会議中だけでなく、普段の会話や様子などからくみ取れるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ一人一人の能力を把握する事に努め、必要に応じて面談や意見交換及び、その場での指導を行い、成長できるよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所の運営す身会議に参加させて頂いています。第三者評価様主催の研修に参加して質の向上に繋がられるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人、ご家族様とのコミュニケーションを図り必要に応じては御自宅を訪問させて頂き、ご希望あれば入居体験をして頂くよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御本人、ご家族様とのコミュニケーションを取りながら、ご家族様の想いも、理解、共感できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント内容、現在のユニットの状況を考慮して適切な指示ができるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームだからこそできる関係性作りに努めています。さりげない支援でなるべくSADLを低下させないようなケアを心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加、通院への協力を促しご家族様に協力して頂けるように努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や、手紙のやり取りの支援、お墓参りへの同行、地域資源への活用。アセスメントを基に支援させて頂くようにしております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士の性格や相性を考慮しながら、普段の距離感やスタッフか介入の度合いを配慮させて頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も退去先に伺わせて頂き、電話でのやり取りコミュニケーションを一時的にきらないよう配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「お一人、お一人の想いの実現のために」をホームビジョンとして掲げ、全スタッフがその都度意識して考えるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント実施 入居後も本人ご家族様からの情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、日報を活用し、日々の変化に早く気づけるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議にて御本人様のニーズに沿った計画が作成できるように努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や日報、申し送りノートを活用、共有に努めている。担当スタッフと計画作成担当者がサービス担当者会議の準備を行い見直しにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別の外出、通院介助に対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物散歩、外食、清掃活動など地域に積極的に外出するよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	適切な診療が受けられるように御入居時に説明させて頂いています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の看護師勤務だけではなく随時電話対応にて報告し、指示を仰ぐなど対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院への訪問を繰り返して情報収集に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、ご家族様に重度化されて場合の指針を説明させて頂いています。御本人様の状態変化に応じて主治医、ご家族様とその都度、相談を重ねて決定しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全スタッフが対応できるよう、定期的に研修を実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回訓練実施しています。地域訓練にも参加しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩でもある事を意識し馴染みの関係を築けるよう努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御入居様が選択できるような配慮日常生活の会話から伺える要求の把握に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	傾聴する時間をつくり、「想い」を実現できるように支援を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の好みを把握。 ただし、同じ物を毎日着ないように注意しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備ホームの焔を活用しながら食の楽しみを味わって頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を把握して対応できるようにチェック表を活用している。必要な方は個別で支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアで清潔の保持。状態の把握をして食後の義歯の清掃に努めています。 毎月1回歯科往診があります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用、1人1人の状態を把握するように努めています。 パット、オムツ類の見直しを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量、食事摂取量を把握して乳製品やハチミツなどを利用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望の時間に入浴される方もいます。 入浴拒否される方は時間を変更しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活パターンや体調を見極めてリビングや居室で休んでいただけるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、看護師、薬剤師の協力のもと服薬支援をしています。 変更の際は報告書で共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時のアセスメントを基にグループホームで入居されてからも、御自宅での生活が継続できるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩、おやつ、冠婚葬祭、お孫様の行事などに参加できるよう支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いの管理はしていません。 買い物は立替えています。 買い物の楽しみをもてるよう、買い物支援や外出支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望によりホームの電話を使用擦る方もいます。個人の携帯電話を持っている方もいます。掛けて来られて電話はつないでおります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者様には、家であり、生活の場です。衛生管理、温度管理等の環境整備には十分注意しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1人1人の行動パターンだったり、他の方の相性を考慮して落ち着いて過ごして頂けるよう支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅での生活を十分踏まえて馴染のある物を馴染のある場所に配置をして安心、安全に生活して頂けるように配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1人1人の出来る事を把握して自立を促しながら、より安全に配慮された環境整備に努めています。		